

平成27年度事務事業評価シート

取組みコード 42114

区分	補助金・交付金	担当課	スポーツ・文化振興課	作成日	平成27年5月12日
事業名	愛川ウインドオーケストラ運営費補助金	開始年度	平成3年度	予算科目	9.4.5.1.1

1 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり
章	第2章 活発で個性豊かな文化づくり
節	第1節 地域文化の振興
基本施策	1 文化活動の推進
取組みの基本方向 (4) 各種文化活動を担う指導者、後継者の育成につとめます。	
根拠法令等	
目的 (誰・何を対象に、何のために)	吹奏楽の演奏活動を支援し、吹奏楽の普及発展と音楽文化の向上に資することを目的とする。
内容・方法 (何を行っているのか)	吹奏楽団である愛川ウインドオーケストラに補助金を交付している。 【愛川ウインドオーケストラの事業内容】 ○サマーコンサート・ふるさとまつり等 ○各所で演奏発表会等に向けての練習 ○平成27年度にはサマーフェスティバルへの出演を予定している。

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名	平成21年度	平成28年度				
	『地域文化の振興』について「満足」と感じる住民の割合	39.3%	44.0%				
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果	補助団体により発表会等が開催され、住民が吹奏楽に触れる機会が充実すること						
(A) の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
発表会等の開催数(回)	増	補助対象団体の活動が活発に行われているかを測るため、発表会等の開催数を指標とするもの。	計画値	/	3.0	3.0	4.0
			実績値	3.0	2.0	3.0	
			達成度※自動計算	/	66.7	100.0	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動	本事業は補助金の給付のみであるため、町の活動としては、申請書の受理、報告書の審査等だけであることから、活動指標の設定は行わない。						
(B) の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
			計画値	/			
			実績値	/			
			達成度※自動計算	/	計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)
(A) 事業費(円)	95,000	95,000	95,000	95,000
(B) 概算職員数(人)	0.010	0.010	0.010	0.010
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	83,000	83,000	83,000	83,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	178,000	178,000	178,000	178,000
単位当たりコスト※自動計算	59,333.3	89,000.0	59,333.3	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源※自動計算	178,000	178,000	178,000	178,000

4 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 <small>(公費を投入して実施することが妥当な事業か)</small>	法令等で義務付けられた事業である		C
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない		
	国や県において同類種の事業が実施されていない		
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である		
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
町民の日常生活に必要な事業である			
上記のいずれにも当てはまらない			
有効性 <small>(基準年と比較して成果が上がっているか)</small>	成果指標について平成26年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 <small>(なるべく費用をかけずに成果を上げているか)</small>	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減≧成果ダウン	B
有用性 <small>(施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)</small>	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高くない	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5 特記事項

【補助金】 ○平成18年度～平成22年度 100,000円 ○平成23年度～平成26年度 95,000円(5%の削減) ※主な利用目的は、会場使用料と機材搬送費。
--

6 自己評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
理由	継続して年3回程度の演奏活動を実施している。ふるさとまつりへの参加や平成27年度についてはサマーフェスティバルへの参加を予定しているなど町事業への貢献も高いため。
今後の方向性	現状維持

7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	妥当性の判定がCとなっているが、町内で吹奏楽の演奏を提供している数少ない団体であり、妥当性が認められることから、所管課の方向性のとおり現状維持とする。

8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	補助対象の団体は自主的な活動で吹奏楽の演奏、発表を行う貴重な団体であり、経費の大部分は団員の会費負担により賄われていることから、演奏、発表の機会を維持するため、引き続き補助金を交付し、団員の負担を軽減するべきである。

9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施し、団員の負担の軽減を図るとともに、町民が吹奏楽演奏に触れる機会の維持・向上に努めていく。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。